

復旦-SBI 並行ファンドを設立、大学発科学技術成果の産業化を促進

(2010年10月19日)

2010年10月18日、復旦大学サイエンスパークは、同大学が開催した調印式で日本の総合金融グループを形成する SBI ホールディングスと PE ファンドの共同設立に関する基本合意書を締結しました。当該ファンド（以下、「復旦-日本 SBI ファンド」）は復旦大学の IT 技術、バイオ、グリーンテック、新エネルギー及び材料等の分野の科学技術研究成果を産業化させ、同大学発のベンチャー企業または関連企業及び大学の教授、在校生、卒業生が創業した企業に投資を行います。

復旦-日本 SBI ファンドは 2 本のファンドを共同設立し、一つは SBI が海外で設立する米ドル建てファンドで、もう一つは復旦と SBI が上海で共同設立する人民元ファンドです。

復旦大学の研究分野の強みにより、現在復旦大学傘下の企業は主にバイオテクノロジー、グリーンテック、IT・メディア、新エネルギー等の関連産業に集中しています。当該ファンドは主に同大学発のベンチャー企業または関連投資企業、大学の教授、在校生、卒業生が創業した企業、サイエンスパーク傘下の企業及び復旦大学の産学連携企業などを投資ターゲットとします。投資ステージはアーリー、ミドルステージ、プレ-IPO をカバーする予定です。

復旦大学副学長桂永浩氏によると、復旦大学が学生の創業を支援するために設立した大学生科学技術創業ファンドは 2005 年から現在まですでに 23 社に投資をし、累計投資金額は 1200 万元に達しました。復旦大学サイエンスパークは全国において最も早く設立したサイエンスパークの一つであり、教育部（文部省）、科学技術部（科学技術省）より第一次国家大学サイエンスパークの一つに認定されました。設立してから 10 年を経た今でも、ハイテク企業のインキュベーション、イノベーション企業の創業に向けた人材の育成等、ハイテク産業の形成のための努力を探索し続けています。科学技術の成果及び知識の産業化をいかに促進していくかは、一つの大きな課題となっています。

多くのハイテクベンチャー企業にとっては、創業段階とシーズ段階において開業資金のニーズが最も高いです。しかしこれらシーズ段階の企業に対しては資金を提供するところが少なく、多くは政府の助成ファンド、例えば上海市政府の“天使ファンド”などからしか資金提供を受けられません。本ファンドの設立はこのような段階の企業にとって新たな資金源となります。

SBI グループは日本で最大規模かつ最も有名な総合金融グループの一つであり、主な業務内容に P E ファンドの組成、V C 投資などを含みます。これまですでに 700 社の企業に投資し、18%以上の企業が IPO または M&A の方式でエグジットするなど、高い投資パフォーマンスを収めています。SBI は、中国でアリババ、SINA、OPI、Goldwind 等の有名企業 20 数社への投資実績があります。2008 年当該グループは清華ホールディングスと共同で、北京市において初めて、全国において 2 本目の外資人民元 P E ファンドを設立しました。また、北大青島グループとは 1 億ドル規模の Offshore ファンド設立しており、大学との共同事業に関してはすでに実績を有しています。今回復旦大学サイエンスパークとの連携において新しく設立した復旦-SBI ファンドでは、復旦大学の科学技術成果の産業化、復旦大学の関連ベンチャー企業の発展を促進し、また大学の卒業生を大学の周辺に誘致することを期待しています。

SBI グループの代表である北尾吉孝氏は、SBI グループのミッションの一つは“新産業のクリエイター”を目指すことであり、中国の大学発科学技術の成果を日本の産業経験、資金、資源などと融合させることを期待していると表明しました。彼は中国のプライベート・エクイティ投資市場の先行きは明るいとしており、その理由として、現在、中国において大学、産業、企業、政府等が協力し合い、順調な良い発展環境が出来上がっていると述べました。北尾氏は、若い大学生創業者らに、創業した企業が上場することは容易なことではないが、彼らにもっと関心を持ってほしいことは、どのように企業を長期的に持続発展させていくかということであると助言しました。ある統計によると、日本のベンチャー企業で創業してから 10 年後も発展し続けている会社は全体の 5%程度で、20 年後も発展し続けている会社は全体の 0.3%まで減少、30 年後も発展し続けている会社は全体のわずか 0.025%しかありません。経営者として、必ず自分が従事している業務とその業界の知識に精通し、理想を実現する戦略を明確に策定してから、地道に働くことも大事であると述べました。